

## 第140回 地震工学委員会 運営幹事会議事録

日時：平成23年5月30日（月）17：00～18：00

場所：東京大学生産技術研究所 As 棟 311・312

出席者：小長井委員長、清野副委員長、秋山幹事長、濱野幹事、山本幹事、富田幹事、藤原幹事、吉見幹事、清田幹事、高橋幹事、尾崎（事務局）

### 1. 前回議事録（案）の確認

藤原幹事より資料【幹 140-01、140-02】に沿って議事録の説明があった。

- ・秋山幹事長、今回はじめて顧問の年齢要件を明確化した。

### 2. 審議事項・報告事項等

#### 1) 拡大幹事会決定事項の確認

- ・提案のあった小委員会の活動を開始してもらう。活動計画書の提出を要請し、処理をすすめる。
- ・東日本大震災対応の特別小委員会の活動内容等のたたき台を小長井委員長が準備する。

#### 2) 土木学会論文集 A1 編集委員会委員選定について

・地震工学論文集編集小委員会より酒井久和先生（広島工大）を推薦。高橋幹事から A1 編集幹事長に連絡。来年度以降の体制については高橋幹事に確認していただく。

#### 3) 東北地方太平洋沖地震による地震観測記録開示のお願いについて

- ・高橋幹事より以下説明
- ・岩手・宮城内陸地震の例を参考に、土木学会会長名での依頼文書を JR 東日本、NEXCO 東日本に提出予定。担当は地震工学委員会とする。地震記録は土木学会の提供サイト（観測記録提供サイト）で登録者に提供する形式としたい。土木学会→高橋幹事→JR 東日本担当者、NEXCO 東日本担当者、と書類を回したい。
- ・サーバはこれまで後藤顧問が東大に準備していたものを使っていた。サーバを新たに準備する必要がある。地震からさほど日が経っていないため希望者が多い可能性がある。マンパワーを考える必要あり。土木学会の委員会支援ツールの使用を検討する。

#### 4) ワールドリスト編集委員の選出について

・小長井委員長より資料【幹 140-04】に沿って対応の説明があった。耐震基準小委員会委員長に相談するよう三輪氏に返答するとともに、当該委員の選出過程の明確化を依頼した。

#### 5) 運営幹事会役割分担の確認

- ・高橋幹事：ホームページ担当承認

- ・中島幹事：原子力土木委員会との調整担当を追加
- ・山本幹事：研究会企画担当補佐を追加。
- ・秋山幹事長より東日本大震災対応で幹事の役割変更が生じる可能性があるとの考えが示された。

#### 6) 土木学会出版物の収支実績について

- ・濱野幹事より、実務に役立つ耐震設計入門は初年度のため赤字が出ているが、今後収支は改善していくものと思われる旨の説明があった。

#### 7) 報告事項

- ・地震工学研究発表会について

学会誌への原稿を急ぐ。メールニュース（会員課）にも載せる。→尾崎事務局担当へ

- ・基準・指針類の点検について

耐震基準小委員会を中心に土木構造物の耐震設計ガイドラインの見直しを提案している。

- ・H22年度自己評価について
- ・H22年度活動度個別調査書について

昨年度は収入減。原因は地震工学研究発表会が開催されなかったため。だが赤字行事の見直しで収支は改善。

### 3. その他

#### 1) 次回運営幹事会の日程

7月中旬、メールにて調整。

- ・運営幹事会としても行事など昨年と同様なスケジュールで運営を進めていきたい。

#### 資料

幹 140-01：平成 23 年度 第 1 回（通算第 31 回）委員総会 議事録（案）

幹 140-02：平成 23 年度 第 1 回（通算第 139 回）運営幹事会 議事録（案）

幹 140-03：東北地方太平洋沖地震による地震観測記録開示のお願いについて

幹 140-04：ワールドリスト編集委員の選出について

幹 140-05：運営幹事会役割分担の確認

幹 140-06：土木学会出版物の収支実績について

幹 140-07：地震工学研究発表会について

幹 140-08：基準・指針類の点検について

幹 140-09：H22 年度自己評価について

幹 140-10：H22 年度活動度個別調査書について

以上